

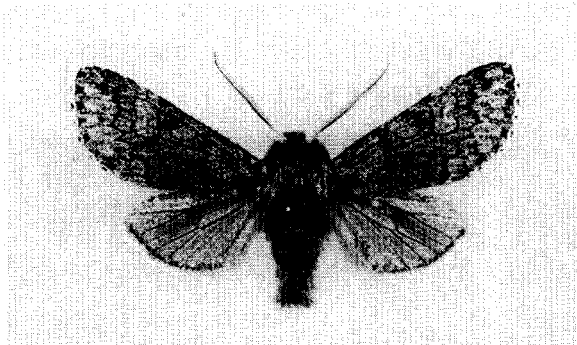
## 長野県伊那谷における

### タニガワモクメキリガの採集記録

四方 圭一郎\*・井原 道夫\*\*

タニガワモクメキリガ *Brachionycha permixta* Sugi は早春に羽化するのヤガで、青森、秋田、東京、山梨、群馬、栃木、長野、岐阜などの記録が報告されているが、分布は局所的で標本の得難い種類である。

長野県内では、白馬村、安曇村、大桑村などで採集されており、大桑村では近年多数の個体が得られている。伊那谷からはこれまで報告はなかったが、筆者らは伊那谷の2ヶ所で本種を得ているので報告する。なお、採集の一部は飯田市誌執筆のための調査として行ったものである。



飯田市千代産の個体

1♂, 長野県下伊那郡阿南町村影 (alt.320m), 8. III. 1980, 井原道夫採集・保管。

4♂, 長野県飯田市千代唐沢滝付近 (alt.950m), 18. III. 1999, 四方圭一郎・井原道夫採集・保管; 1♂, 同地, 24. III. 1999, 四方圭一郎採集・保管。

阿南町の採集地はアラカシやアカガシなどがみられる照葉樹林帯にあたり、本種が主に得られている夏緑広葉樹林帯とは、異なった植生帯にあたる。この地域は、エゾモクメキリガやアズサキリガなど、主として夏緑広葉樹林帯以上の植生帯に生息地を持つ種類が得られる特異な場所である。その後、調査を続けているが追加個体は得られていない。

飯田市の採集地は、イヌブナ、ミズナラなどがみられる夏緑広葉樹林帯である。本種と同時に、カバイロミツボシキリガ、ヨスジキリガ、エゾモクメキリガなどが得られた。

既存分布や生息環境などから考えて、本種は長野県下に広く分布していると思われる。今後の調査によって、各地から記録される種であろう。

○参考文献

井上寛ほか, 1982, 「日本産蛾類大図鑑」. Vol.1:968p; Vol.2:556p. 講談社, 東京。

杉村明道, 1996, 長野県大桑村でタニガワモクメキリガを採集. 月刊むし, 307, 40.

(\*しかた けいいちろう/飯田市美術博物館

\*\*いはら みちお/〒395-0004飯田市上郷黒田571)

## 飯田市でエドヒガンザクラより

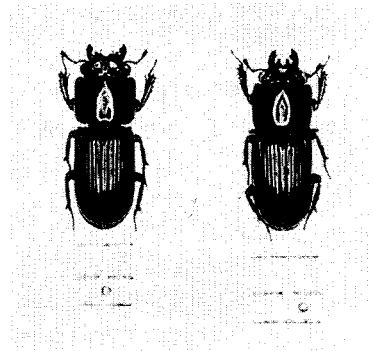
### チビクワガタを採集

四方 圭一郎

チビクワガタ

*Figulus binodulus*

Waterhouse は関東地方以西に分布する小型のクワガタである。長野県内では阿南町での採集記録が報告されている(井原1985)。



飯田市追手町産の個体

筆者は、飯田市美術博物館の庭に生えている、県天然記念物のエドヒガンザクラの大木より、未成熟個体を含む多数の成虫を採集しているため報告する。

28exs., 飯田市追手町(標高500m), 6. XII. 1996, 筆者採集・飯田市美術博物館保管。

これらの個体は全て、エドヒガンザクラ老木の保存作業の際切り落とされた、太さ20cm~30cmくらいの枯死部から得られた。枯死部は手で崩せるような柔らかさで水分を多く含み、褐色腐朽している状態であった。成虫と共に本種のものと思われる幼虫も多数見られ、このサクラで発生をしていたことは間違いないと思われる。

参考までに、飯田市美術博物館が所蔵している県内産のチビクワガタのデータを記しておく。採集者の記述がないのは筆者の採集品である。

1ex., 天龍村平岡ダム (alt.300m), 27. VI. 1994, 柳澤秋介採集; 1ex., 同所, 6. VIII. 1997; 1ex., 同所, 25. VI. 1998; 1ex., 天龍村為栗 (alt.300m), 29. VI. 1996; 1ex., 南信濃村上島 (alt.600m), 25. VI. 1998.

○参考文献

井原道夫, 1985, クワガタムシ科3種の南信での記録. まつむし, 71, 37.

(しかた けいいちろう/飯田市美術博物館)